

日本でも第一級の豪華さを誇る
諏訪館跡庭園 (特別名勝)

この庭園は、4つの特別名勝朝倉氏庭園の中で最も大きく、戦国大名の庭園では、日本でも第一級の豪華さを誇ります。
5代義景が最愛の妻「小少将」のために造ったと伝えられています。

写真撮影 © 水野克比古



はなさんが(モデル、タレント)
「義景と小少将の
愛の物語」を語ります。

平成27年

9.26 (土)

13:30~16:30

国際交流会館多目的ホール
(福井市宝永3丁目-1 JR福井駅徒歩15分)

参加
無料

定員 300名
※先着順

一乗谷朝倉氏庭園の魅力と再発見

「関西から日本の社会を文化で元気にしよう」という「関西元気文化圏」の取り組みとして、「文化芸術の再発見」をテーマに関西各地で開催するフォーラムです。
今回は、進士 五十八氏を迎えて、福井県で開催します。

講演

「日本庭園の技と心」【60分】

日本文化を代表する空間文化・「日本庭園」の特色、縮景・借景・樹藝・然び、その精神美・景観美・自然美・時間美を語ります。

講師：進士 五十八氏

(東京農業大学名誉教授・日本造園学会元会長
福井県里山里海湖研究所長)

プロフィール

東京農業大学名誉教授。日本の造園学、景観政策学研究の第一人者であり、各都市のまちづくりや景観づくりなど幅広く活躍中。これまでに東京農業大学学長、日本造園学会会長、日本都市計画学会会長、社会資本整備審議会委員など多くの要職を歴任。日本庭園の特質に関する学術研究を昇華させ、環境の時代にあふましい「緑と農のまちづくり論」の創造を行い、地球環境の持続的維持に向けた基盤となる方法論を提示し、政策展開、実践を行う。2007年紫綬褒章、2015年みどりの学術賞受賞。主な著書には、「アメニティ・デザイン」(学芸出版社)、「日本の庭園」(中公新書)、「日比谷公園・百年の矜持に学ぶ」(鹿島出版会)、「グリーン・エコライフ」(小学館)など多数



進士 五十八氏

報告

「一乗谷朝倉氏遺跡と一乗谷朝倉氏庭園の歩み」【30分】

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の史跡整備 40年の歩みと、特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の見どころや特長を紹介します。

講師：藤田 若菜氏

(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 文化財調査員)

パネルディスカッション

「一乗谷朝倉氏庭園の魅力と再発見」【80分】

コーディネーター：進士 五十八氏

パネリスト：はな氏 (モデル、タレント)

「諏訪館跡庭園にみる朝倉義景の愛」

鳥賀陽 百合氏 (ガーデンデザイナー)

「外国人観光客からみた一乗谷朝倉氏庭園のクールな魅力」

藤田 若菜氏

「朝倉館跡庭園 鑑賞体験!」(映像による庭園鑑賞疑似体験)

本中 眞氏 (前文化庁記念物課主任文化財調査官)

「一乗谷朝倉氏庭園の本物の魅力と伝え方」





あさくら やたい かに てい ぎん
朝倉館跡庭園 (特別名勝)

この庭園は、完全に土の中に埋もれており、発掘調査により発見されたものです。池の底には、平らな石が美しく敷き詰められており、池の周りには、大小さまざまな庭石で出入りの多い護岸が組まれています。

申込方法等

申込方法 ハガキ・FAX・Eメールにて

- ①「9月26日フォーラム申込」 ②参加者お名前
 - ③参加者ご住所 ④ご連絡先 (TELまたはFAX、Eメール)
- をご記入のうえ、お申し込みください。

申込先 福井県観光営業部文化振興課
 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL : 0776-20-0580 FAX : 0776-20-0661
E-mail : bunshin@pref.fukui.lg.jp

▼詳細はこちらをご覧ください
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/bunshin/sengokufukui.html>

会場までの交通案内

福井県国際交流会館 多目的ホール(福井市宝永3丁目1-1)
 ◆電車でお越しの方 JR福井駅下車徒歩15分
 ※できる限り、公共交通機関でお越しください。



**400年の眠りから現代によみがえる戦国城下町
 一乗谷朝倉氏遺跡**

発掘調査の始まり

昭和5年、史跡・名勝指定を受けた朝倉氏遺跡は、昭和42年、本格的な発掘調査が始まりました。

城下町一乗谷の実像が明らかに

調査の過程で、朝倉館、武家屋敷、寺院、商人・職人達の町屋、それらを結ぶ道路など、戦国時代の城下町の全貌が発掘で明らかになってきました。



復原町並

国の特別史跡に指定

調査の過程で、戦国時代の山城と城下町が良好な状態で残されており、学術中の価値が特に高く、日本文化の象徴であると認められたため、昭和46年、山城跡を含む延べ278haが国の特別史跡に指定されました。

国の特別名勝、重要文化財に指定

平成3年、遺跡内の主要な4庭園が特別名勝に、平成19年には、遺跡出土品2,343点が重要文化財に指定され、現在も発掘調査や研究が進められています。

遺跡にある特別名勝庭園

戦国時代の荒々しい石組み
湯殿跡庭園 (特別名勝)

この庭園は、戦国時代の気風を漂わせる、荒々しく勇壮な石組みが特徴です。4つある特別名勝朝倉氏庭園の中で、一番古いものではないかと考えられています。



春の湯殿跡庭園

後の室町幕府15代将軍義昭をもてなした
南陽寺跡庭園 (特別名勝)

この庭園が位置する南陽寺跡では、一乗谷朝倉氏5代義景が永禄11年(1568)の春、後に室町幕府最後の将軍となる足利義昭を招き、境内の糸桜を眺めながら歌会を催したと伝えられています。庭園の横に、この時詠んだ2人の歌の石碑があります。



冬の南陽寺跡庭園

★このまま送信ください。

関西元気文化圏推進
 フォーラム
**参加
 申込書**

FAX : 0776-20-0661 (福井県文化振興課 行き)

参加希望人数 _____ 名 代表者氏名 _____

代表者住所 〒 _____

代表者連絡先 TEL _____

※ご記入いただきました個人情報については、本フォーラムの目的以外には使用いたしません。